



イワショウブ

1、2024年度大規模植生回復作業を開始しました！

葦毛湿原の大規模植生回復作業は2012年度（2013年1月）から開始し、今年度で13年目になりました。今年度は11月5日（火）から作業を開始しました。作業は11月から2025年3月まで年末年始を除く毎週火曜日の9～12時、毎月第3日曜日の9～12時に行う予定です。なお、雨天は作業中止です。

都合により日時を変更する場合がありますが、作業は公開しており、葦毛湿原では木道の上から自由に見学ができます。興味のある方は是非ご覧ください。

また、**葦毛湿原植生回復ボランティア**も募集しています。興味のある方は**豊橋市文化財センター**（0532-56-6060）までご連絡下さい。



外来種（メリケンカルカヤ）を根ごと抜く



切り株の伐採と外来種除去



刈払機による刈り取り

1) 今年度の作業

今年度の作業も基本的に①：木の伐採、②：手作業による表土や根の層の掘削、③：除草の3種類で行います。①は昨年伐採を行ったところの続きで指定地西側の森を伐採します。②は湿地中央部では実験区を設定し表土等の掘削を行い、埋土種子からの発芽を確認します。旧水田部分では大雨で壊れた土手や水路を修復し、冬水田んぼ（新たに池状になるところ）として再生します。③は日照を確保するために広い範囲を除草します。

葦毛湿原は江戸時代以来、少なくとも400年以上に亘って秣場（まぐさば：牛馬のエサを採取する草刈り場）として管理されてきたところです。今年の作業では積極的に除草しながら生物多様性を維持していく方法を模索していきます。

2、2024年度モニタリング報告－4

1) O地点

O地点はイヌノハナヒゲを根から除去して裸地の状態を保つようにしたところです。作業直後（下左写真）は全体が浅く冠水し、水溜まり状のところが多くありました。6月までは雨も降り順調に推移していました（下右写真）。



O地点作業直後（2024年4月4日） **O地点作業後約2か月（2024年6月11日）**

しかし、今年は異常気象で7・8月にはほとんど雨が降りませんでした。O地点は地表面に水が無くなり干上がってしまいました（右写真・下左写真）。

9月に入り雨が降るようになり、地表面に水が戻ってきましたが（下右写真）、いつも見られるミミカキグサもわずかに見られたただけでした。現在は地表面が冠水した良好な湿地状態が保たれています。



O地点作業後約5か月（2024年8月24日）



干上がったO地点（2024年8月24日） **O地点作業後約6か月（2024年9月29日）**

3、手作り案内板

葦毛湿原では説明板の下にガラス引き戸のボックス形の案内板を設置しています。内容はその時々々のリアルタイムの開花情報等で豊橋湿原保護の会の会員等が随時更新しています。

右上には日本自然保護協会主催の日本自然保護大賞 2021 選考委員特別賞の賞状を飾り、それ以外のスペースには葦毛湿原で今見られる植物の開花状況（今、注目の花）や植物の説明があり、動物や昆虫も紹介しています。また、豊橋湿原保護の会の活動案内や観察会の紹介もしています。

11月10日現在は、秋の注目の花として、ホソバリンドウ、ヤマラッキョウ、スズカアザミ、スイランが紹介され、動物ではニホンカモシカ、ニホンイノシシ、ニホンリス、ホンドテン、コジュケイ等、魚ではアブラハヤとカワムツが紹介されています。



葦毛湿原案内板（全体）



ボックス形案内板

ヤブデマリのマメコガネ

葦毛湿原には様々な昆虫が訪れます。7月に中央広場のベンチ近くのヤブデマリにマメコガネがたくさん集まっていました。花が終わり赤い実が付いたヤブデマリの葉の上に10頭以上がいました。交尾のために集まっていたようです。



ヤブデマリとマメコガネ（2024年7月6日）



交尾のために集まるマメコガネ